

BIM ライブラリーコンソーシアム

第 2 回 在り方部会

議事次第

日時：平成 28 年 1 月 21 日（木）16:00~17:30

場所：上海国際会館 2 階会議室

1. 開会

2. 議事

- (1) 前回議事録の確認
- (2) NBS BIM オブジェクト標準の説明
および関係する資料説明
- (3) 今後の進め方について
- (4) ディスカッション

3. 閉会

会議資料一覧

資料	在 2-1	議事次第
資料	在 2-2	前回議事録
資料	在 2-3	NBS BIM オブジェクト標準
資料	在 2-4・1/・2	BS8541-1/ BS 8541-3
資料	在 2-5	在り方部会の今後の進め方

次回 日時 : 3 月 3 日（木） 16:00~17:30

場所 : 上海国際会館 会議室

BIM ライブラリーコンソーシアム・在り方部会議事録

日時 平成 27 年 12 月 10 日(木) 14:00~16:00

場所 上海国際 2 階会議室

参加者 別紙

配布資料

- 資料 1 議事次第
- 資料 2 全体活動計画
- 資料 3 各部会での論点整理
- 資料 4 BIM ライブラリーコンソーシアムの設立(建設 IT ガイド 2016 年 2 月原稿)
- 資料 5 参考資料(海外事例紹介)

司会 BMMC 高橋

開会あいさつ 安田部会長

BIM は情報伝達の言葉。参加型で研究会を進めていきたい。

議事(1)自己紹介と部会に期待すること(14:05-14:25)

- ・出席者全員が順番に自己紹介を行った。

議事(2)海外事例紹介等と簡単なディスカッション(15:25~16:15)

- ・資料 4 と資料 5 に基づいて BIM ラブラリーに関係する現状の説明。(寺本)
- ・資料 3 の論点整理を説明。(寺本)
- ・資料 2 に基づいて活動計画を説明。(部会長)

[会場からの質問]

Q1 ジェネリックなモデルの意味何か。

A1 2 つの意味で使っているが、ここでは企業名のないモデルの意味。(オートデスク)

Q1 単純なものでは意味がないので、LOD に 2 段階が必要と考える。また誰が作るのか。

A1 今後の検討事項としたい。

Q2 用語の定義、分類の問題があるが、シソーラスは Yahoo 型と Google 型があるが、推論形式 (Google 型)が望ましい。Yahoo 型はツリー構造。

Q3 ライブラリーの開発ではユーザーインターフェース(画面設計など)が重要だが、その点を論点に加えて欲しい。(泉)

A3. 論点 10、論点 13 に漠然と入れているが、当方のデータベース開発でも重要な課題で、明確化する必要があると考える。

Q4 部会で在り方に関して意見が分かれた場合はどうするのか。(下水道)

A4 内容によると思うが、原則は多数決で決定することになるのでは。(部会長)

Q5 勉強する情報がたくさんあるので、事務局で情報を提供してほしい。(日本メックス)

A5 1,2 週間でコンソーシアムのホームページが立ち上がる。そこに技術情報を掲載するので利用してほしい。 <http://www.bmmc.or.jp/blc>

Q6 ライブラリーの標準で英国の例が紹介されているが、米国もあるので。(公共建築協会)

A6 ISO に関しては米国は積極的でない。英国を中心とする英連邦が関心が高い。

山下代表からも同意見。BIM は製造業が先行して獲得した技術で、建築は学ばなければいけない。(IAI 日本)

Q7 : BIM を利用する場合の成果物の形態は、二次元ではなく、BIM にならないのか。

A7 : 世界でもまだ二次元図面で渡している。

その他 次回 来年 1 月 21 日(木) 16:00~18:00

在り方部会の今後の進め方(案)

[グループ 1] 2015 年度に結論を出す予定の課題

- | | | |
|--------|----------------|---------------------------------|
| ①論点 1 | グローバル化への対応 | ……………調査票 1 で 2/1 までに回答 |
| ②論点 2 | 分類の方法 | ……………調査票 1 で 2/1 までに回答 |
| ③論点 7 | オブジェクトと情報項目の関連 | ……………調査票 1 で 2/1 までに回答 |
| ④論点 10 | ライブラリーの方式(調査) | ……………2016 年度半ばまで結論延期
(事務局対応) |

[グループ 2] 2016 年度以降に結論を出す予定の課題

<グループ 2A>

- | | | |
|-------|-----------------|-------------------------|
| ⑤論点 3 | オブジェクト標準 | ……………調査票 2 で 2/15 までに回答 |
| ⑥論点 4 | 記述すべき情報項目(関連項目) | …………… 同上 |
| ⑦論点 5 | オブジェクトの表現 | …………… 同上 |

<グループ 2B>

- | | | |
|--------|----------------------------|-------------------------|
| ⑧論点 11 | ライブラリーの水準 | ……………調査票 3 で 2/15 までに回答 |
| ⑨論点 12 | ライブラリーの実現方法 | …………… 同上 |
| ⑩論点 13 | ライブラリーの在り方 | …………… 同上 |
| ⑪論点 14 | ライブラリーのビジネスモデル | …………… 同上 |
| ⑫論点 15 | データ入力 | …………… 同上 |
| ⑬論点 18 | 必要な部品の範囲とデータ収集(関連として)…………… | 同上 |
| ⑭論点 20 | GIS 等のインフラ関係対応 | …………… 同上 |

調査票に関する質問

高橋、水澤、山中

調査票の返送先

高橋 takahashi@bmmc.or.jp

調査票 1

所属：	氏名：
論点 1 グローバル化への対応	[事務局案] BIM は国際的に利用・流通されていくため、BIM ライブラリーの標準検討、構築において、一般論としてグローバル化への対応を図ることは必要である。 具体的な内容、項目等については <u>NBS BIM オブジェクト標準を BIM オブジェクトの標準とすることを落としどころとし、そのための準備として、NBS BIM オブジェクト標準とその関連標準類について、体制整備を図って検討し、また関連する国際会議の場で意見を言うことが必要である。</u> [賛成/部分修正 or 反対、質問等] [この論点に関して会員に対してして欲しいサービス・活動等]
論点 2 分類の方法	[事務局案] 分類方法に関しては国内の慣習、製品系列などがあるため、<u>国内基準の CI-NET が ISO12006 に準拠しているか、または簡単な修正で準拠可能ならばそれを基本にして分類する。(ただし OmniClass とのコード対応は検討)</u>また NBS BIM オブジェクト標準にもこのことを反映するように意見出しをする。 [賛成/部分修正 or 反対、質問等] [この論点に関して会員に対してして欲しいサービス・活動等]
論点 7 オブジェクトと情報項目の関連	[事務局案] ICIS プロジェクト#2 の結論(形状情報と属性情報は分離して扱う)と <u>Stem が同様に形状情報と属性情報は分離していることに鑑みて、そのようにライブラリーで扱うことが問題が少ないと考える。</u> [賛成/部分修正 or 反対、質問等] [この論点に関して会員に対してして欲しいサービス・活動等]

調査票 2

所 属：	氏 名：
論点 3 オブジェクト標準	[今後の進め方に関する事務局案] ○NBS BIM オブジェクト標準の検討を第一優先とする。 このため短期のタスクフォース(TF)を複数設置する。
論点 4 記述すべき情報項目	TF1 BIM オブジェクトの標準として内容が必要十分か、従来の慣習と不適合がないの検討(事務局+IAI 日本で構成)
論点 5 オブジェクトの表現	TF2 技術的項目の設定方針、根拠の検討(BMMC の AEM 等の設計等経験者+設計事務所等)[実施は建築・設備部会]
	TF3 Stem の項目との比較検討(設備部会)
	TF4 オブジェクト、ライブラリーの IT 構造の検討 (IAI 日本+東芝村山氏等の専門家、委託も検討)
	TF5 NBS BIM オブジェクト標準に関係する標準類の翻訳、説明作成等の支援グループ(英語の翻訳ができる人)
	TF6 ISO、ICIS 等と連携し、説明、情報発信をする(専門家)
	○TF5,6 を除き 2016 年 5 月までに終了することを目途
	[賛成/部分修正 or 反対、質問、意見等]
	[TF1～6 への参加希望、候補者の推薦]

調査票 3

[illegible]